

平成30年度情報の公表

目次

I 学校法人三幸学園 小田原短期大学の概要

II 事業の概要

- 1 大学の教育研究上の目的
- 2 教育研究上の基本組織
- 3 教育組織、教員の数、各教員が有する学位及び業績
- 4 入学者に関する受け入れ方針、入学者の数、在学する学生の数、卒業または修了した者の数、就職者数その他進学及び就職等の状況
- 5 授業科目、授業の方法及び内容、年間の授業計画
- 6 学修の成果に係る評価、卒業または修了の認定にあたっての基準
- 7 校地校舎等の施設及び設備、その他学生の教育研究環境
- 8 授業料、入学金その他の大学が徴収する費用
- 9 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援
- 10 その他

III 学校法人三幸学園における財務の概要

学校法人三幸学園HP 情報公開 学校の財務より

<http://www.sanko.ac.jp/disclosure/>

学校法人三幸学園
小田原短期大学

I 学校法人三幸学園 小田原短期大学の概要

(1) 建学の精神

女子を 人として教育する
女性として教育する
国民として教育する

(2) 沿革

1957 (S32年) 3月 学校法人小田原女子学院設立
1957 (S32年) 4月 小田原女子学院短期大学家政学科設置
1958 (S33年) 4月 栄養士養成施設として指定
1960 (S35年) 11月 小田原女子学院短期大学を小田原女子短期大学に改称
1969 (S44年) 4月 小田原女子短期大学附属保育専門学校設置 保母養成校として指定
1971 (S46年) 1月 附属保育専門学校 幼稚園教諭養成機関として指定
1972 (S47年) 4月 小田原女子短期大学幼児教育学科設置
1978 (S53年) 2月 学校法人小田原女子学院を学校法人小田原女子短期大学に改称
1979 (S54年) 5月 小田原女子短期大学附属保育専門学校を小田原女子短期大学附属保育学院に改称

1987 (S62年) 3月 小田原女子短期大学附属保育学院を廃止
2005 (H17年) 3月 栄養教諭二種免許状授与の課程認定 (家政学科)
2006 (H18年) 4月 小田原女子短期大学既設両学科の入学定員及び名称変更 (家政学科100名を食物栄養学科60名に、幼児教育学科100名を保育学科140名に)
2014 (H26年) 4月 学校法人三幸学園と合併 (存続法人は学校法人三幸学園)
小田原女子短期大学を小田原短期大学に改称
保育学科に通信教育課程を設置
2016 (H28年) 4月 食物栄養学科及び保育学科通信教育課程の入学定員変更 (食物栄養学科60名を80名に、保育学科通信教育課程170名を1700名に)
2018 (H30年) 4月 保育学科通信教育課程の入学定員変更 (1700名を2200名に)

(3) 設置学科

食物栄養学科
保育学科
保育学科通信教育課程

(4) 学校法人三幸学園の役員に関する情報

(平成30年5月31日現在)

区 分		人 数
役員	理 事	11 名
	監 事	3 名
	計	14 名
評 議 員		25 名

II 事業の概要

1 大学の教育研究上の目的

(1) 目的 (学則より抜粋) (目的)

第 2 条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、建学の精神のもと、教養教育の基礎の上に食物栄養と保育に関する専門知識と社会人としての幅広い教養を身につけた人材を育成する。

2 食物栄養学科は、人々のライフサイクルに対応した健康づくりに貢献する栄養士及び栄養教諭の養成を主たる目的とする。保育学科は、子どもの人権を守り、暮らしの場面で子どもと向き合う人間性と専門性を備えた子どもの自立を支援する保育士及び幼稚園教諭の養成を主たる目的とする。

《教育理念》

(2) 収容定員 (平成30年5月1日現在)

	入学定員	収容定員
通学課程	220	440
通信教育課程	2,200	3,900

・収容定員充足率

	食物栄養学科	保育学科	通信教育課程
収容定員数	160	280	3,900
在籍者数	162	267	4,191
収容定員充足率	101.3%	95.4%	107.5%

2 教育研究上の基本組織

大学名	学科・課程・専攻等
小田原短期大学	食物栄養学科
	保育学科
	保育学科 通信教育課程

3 教育組織、教員の数、各教員が有する学位及び業績

(1) 教員組織 (平成30年5月1日現在)

食物栄養学科	教授	6名
	准教授	3名
	講師	2名
	助教	0名
	助手	0名
保育学科	教授	6名
	准教授	4名
	講師	6名
	助教	2名
通信教育課程	教授	7名
	准教授	11名
	講師	29名
	助教	30名

学長 吉田 眞理

食物栄養学科 学科長
稲葉 佳代子

保育学科 学科長
上野 奈初美

(2) 専任教員と非常勤教員

・専任教員、非常勤教員の数

(平成30年5月1日現在)

学科名	専任教員数					設置基準で定める教員数 〔イ〕	短期大学全体の 入学定員に応じて 定める専任教員数 〔ロ〕	設置基準で 定める教授数	非常勤 教員数
	教授	准教授	講師	助教	計				
食物栄養学科	6	3	2	0	11	5	-	2	7
保育学科	6	4	6	2	18	10	-	3	10
通信教育課程	7	11	29	30	77		3	1	294
(小計)	19	18	37	32	106	15	-	6	311
[その他の組織]	0	0	0	0	0	-	-	-	-
短期大学全体の入学 定員に応じて定める 専任教員数〔ロ〕	-	-	-	-	-	-	4	2	-
合計	19	18	37	32	106		22	8	311

・専任教員と非常勤教員の比率 (平成30年5月1日現在)

学科名	専任教員	非常勤教員
食物栄養学科	61.1%	38.9%
保育学科	64.3%	35.7%
通信教育課程	20.8%	79.2%

・専任教員の構成

(平成30年5月1日現在)

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
男性	2	3	6	8	6	0	25
女性	4	14	26	22	14	1	81
計	6	17	32	30	20	1	106

・専任教員一人あたりの学生数

(平成30年5月1日現在)

	食物栄養学科	保育学科	通信教育課程
教員一人当たり学生数	14.7	14.8	54.4

(3) 教員の学位

・専任教員の学位保有状況

(平成30年5月1日現在)

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
博士	1	3	5	9	7	1	26
修士	5	14	27	19	9	0	74
学士	0	0	0	2	4	0	6
短期大学士	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	6	17	32	30	20	1	106

(4) 教員の業績

小田原短期大学「教員調書」より

<http://www.odawara.ac.jp/about/disclosure/index.html>

4 入学者に関する受け入れ方針、入学者の数、在学する学生の数、卒業または修了した者の数、就職者数その他進学及び就職等の状況

(1) アドミッションポリシー

本学は、建学の精神に基礎を置き、教育理念・教育目標に定める人材を育成する目的にそって、入学者を適正に選抜するため多様な選抜方法を実施します。本学に入学する人として、本学での学修を通じ社会で自立・活躍できる知識・技能を身につけようとする目的意識や意欲的に学ぼうとする姿勢を持ち、専門分野の知識と課題解決力を身に付けるための基礎的学力を有する人を期待します。本学では、自分の考えを口頭で他者にわかりやすく伝えられる能力を求め、すべての入学者選抜試験において面接試験を実施します。

- (1) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の教育課程を修得している。
- (2) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の修得科目のうち、「国語（現代文）」を通じて、読む・書く・自らの意見や考えを伝えるという基礎的な能力を身に付けている。
- (3) 様々な問題について、自らの知識や情報をもとにして、わかりやすく人に説明することができる。
- (4) 学びたい学科の専門に対する興味や関心を抱き、専門的な知識や技術を社会で活かしたいという意欲がある。
- (5) 入学前教育で求められる、基礎的な知識、学ぶ姿勢を身に付けるためのプログラムに取り組むことができる。

《食物栄養学科》

- (1) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の教育課程を修得している。
- (2) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の修得科目のうち、「国語（現代文）」を通じて、読む・書く・自らの意見や考えを伝えるという基礎的な能力を身に付けている。
- (3) 高等学校（またはこれに準ずる学校）までの家庭科分野での学びを自らの食生活に生かす努力をし、また、これまでの学びをわかりやすく人に説明することができる。
- (4) 健康的な食生活のリーダーである食の専門家の使命を理解し、家族や身近な人、および病気や障害のある人の健康を支えて地域・社会の役に立ちたいと考えている。
- (5) 入学前教育で求められる、基礎的な知識、学ぶ姿勢を身に付けるためのプログラムに取り組むことができる。

《保育学科 通学課程・通信教育課程》

- (1) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の教育課程を修得している。
- (2) 高等学校（またはこれに準ずる学校）の修得科目のうち、「国語（現代文）」を通じて、読む・書く・自らの意見や考えを伝えるという基礎的な能力を身に付けている。
- (3) 様々な問題について、自らの知識や情報をもとにして、わかりやすく人に説明することができる。
- (4) 子どもの発達やかかわり方に興味関心があり、基礎的な学力と思考力・行動力を有している。
- (5) 子どもや保護者などの支援をするために幼稚園教諭や保育士になろうという意欲がある。
- (6) 入学前教育で求められる、基礎的な知識、学ぶ姿勢を身に付けるためのプログラムに取り組むことができる。

(2) 教育目的と求める人物像

教育理念

技能と心の調和

教育目標

- ・ 自他ともに敬い愛する人として教育する
- ・ 豊かな知性と感性溢れる人として教育する
- ・ 健やかな家庭 社会を担う人として教育する

(3) 在籍者数

(平成30年5月1日現在)

学年	食物栄養学科	保育学科	通信教育課程
1年	78	121	2,086
2年	84	146	2,105
計	162	267	4,191

退学・除籍者数

学科	5/1 在籍者数 (A)	退学・ 除籍者数 (B)	中退率 (B/A%)
食物栄養学科	166	4	2.4%
保育学科	283	8	2.8%
通信教育課程	4,306	372	8.6%

※平成29年度実績

留年者数、社会人学生数、留学生数

学科	留年者数	社会人学生数	留学生数及び 海外派遣学生数
食物栄養学科	-	14	0
保育学科	-	12	0
通信教育課程	-	54	0

※平成30年5月1日現在

※社会人学生は平成30年5月1日現在で25歳以上の者

・入学者数推移

学科	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数
食物栄養学科	89	85	81	101	89	88	81	80	77
保育学科	144	142	135	164	159	153	125	123	121
通信教育課程	2,274	2,274	2,274	2,220	2,195	2,178	2,179	2,166	2,085

(4) 卒業生数（学位授与数）及び卒業後の進路

・食物栄養学科

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
卒業生数（学位授与数）	60	67	76
就職希望者数	54	62	75
就職者数	53	62	74
就職率	98.1%	100.0%	98.7%
専門職への就職者数	42	56	60
専門職への就職率	77.8%	90.3%	80.0%

・保育学科

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
卒業生数（学位授与数）	117	136	123
就職希望者数	114	133	119
就職者数	113	133	117
就職率	99.1%	100.0%	98.3%
専門職への就職者数	102	125	103
専門職への就職率	89.5%	94.0%	86.6%

・保育学科 通信教育課程

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
卒業生数（学位授与数）	-	136	1,779

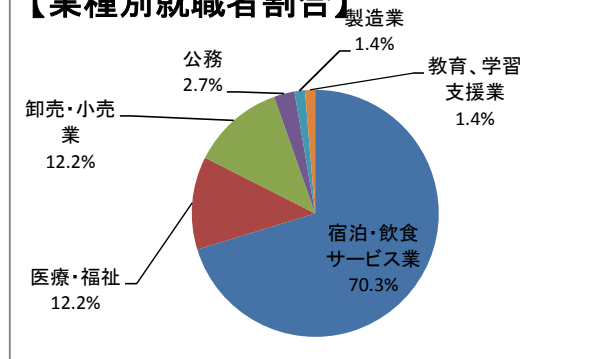
・業種、職種別就職割合

【食物栄養学科】

業種別

業種	人数	割合
宿泊・飲食サービス業	52	70.3%
医療・福祉	9	12.2%
卸売・小売業	9	12.2%
公務	2	2.7%
製造業	1	1.4%
教育、学習支援業	1	1.4%
計	74	100.0%

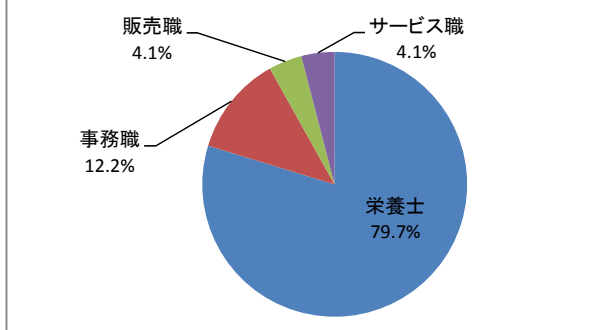
【業種別就職者割合】



職種別

職種	人数	割合
栄養士	59	79.7%
事務職	9	12.2%
販売職	3	4.1%
サービス職	3	4.1%
計	74	100.0%

【職種別就職者割合】

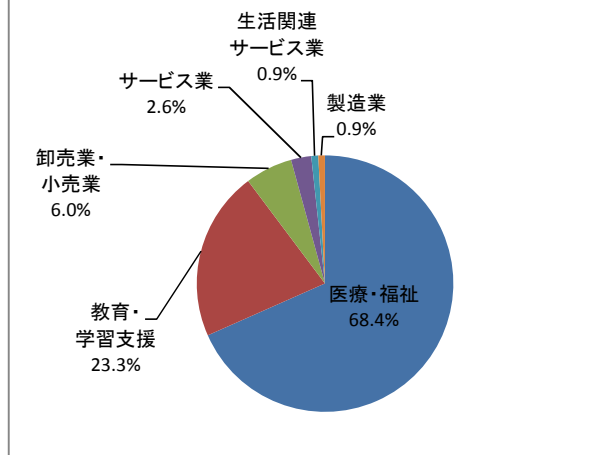


【保育学科】

業種別

業種	人数	割合
医療・福祉	80	68.4%
教育・学習支援	25	21.4%
卸売業・小売業	7	6.0%
サービス業	3	2.6%
生活関連サービス業	1	0.9%
製造業	1	0.9%
計	117	100.0%

【業種別就職者割合】



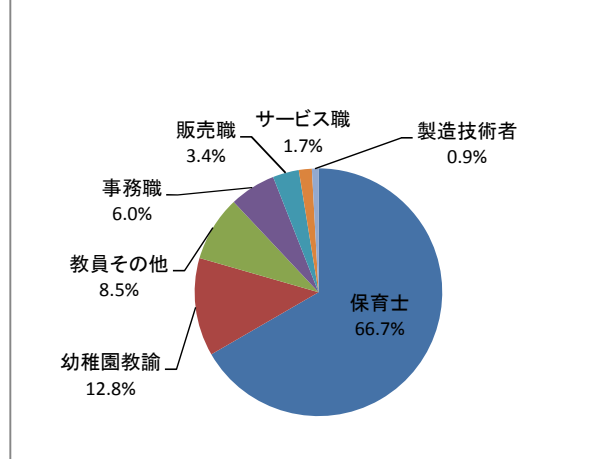
※医療・福祉業の内訳

対象	人数	割合
保育所	59	76.6%
社会福祉施設	12	15.6%
公立保育所	5	6.5%
歯科医院等	4	5.2%

職種

職種	人数	割合
保育士	78	66.7%
幼稚園教諭	15	12.8%
教員その他	10	8.5%
事務職	7	6.0%
販売職	4	3.4%
サービス職	2	1.7%
製造技術者	1	0.9%
計	117	100.0%

【職種別就職者割合】



5 授業科目、授業の方法及び内容、年間の授業計画

(1) 開設授業科目

小田原短期大学「学則」より

<http://www.odawara.ac.jp/about/disclosure/index.html>

(2) 授業計画（シラバス）

小田原短期大学「シラバス」より

<http://www.odawara.ac.jp/about/disclosure/index.html>

(3) 取得できる免許・資格

食物栄養学科	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士免許 ・栄養教諭二種免許 ・健康管理士一般指導員 ・食生活アドバイザー
保育学科	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士 ・幼稚園教諭二種免許 ・児童厚生二級指導員
通信教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭二種免許 ・保育士 ※専攻科に進み3年課程により取得
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉主事任用資格 ・医療事務検定 ・チャイルドボディセラピスト ・おもちゃインストラクター

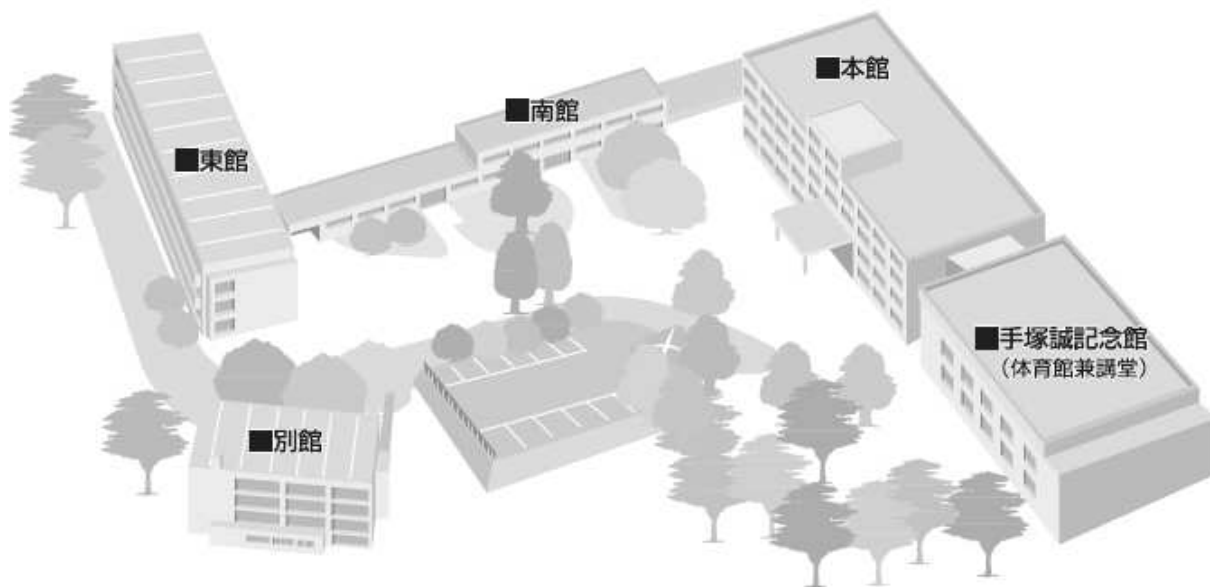
6 学修の成果に係る評価、卒業または修了の認定にあたっての基準

学部・研究科等	修業年限	必要修得単位数	科目ごとの修得単位数		取得可能な学位及び専攻名称
			教養	専門	
食物栄養学科	2年	62 単位以上	8 単位以上	40 単位以上	短期大学士(家政学)
保育学科	2年	62 単位以上	14 単位以上	48 単位以上	短期大学士(保育学)
通信教育課程	2年	62 単位以上	10 単位以上	52 単位以上	短期大学士(保育学)

7 校地校舎等の施設及び設備、その他学生の教育研究環境

(1) キャンパス概要

学内校舎略図



校地面積：12,180.6㎡

校舎面積：8,880.8㎡

・本館

- 4F 会議室 (1)、屋上テラス
- 3F 大教室 (1)、中教室 (1)、小教室 (2)、保育演習室、絵画工作室、絵画準備室
- 2F 大教室 (1)、中教室 (1)、小教室 (4)、小児保健実習室
- 1F 理事長・学長室、事務室、学科室 (2)、共同研究室、講師室、就職資料室 (PC6台)、応接室、印刷室、第1PC教室 (56台)、保健室、会議室 (2)
- BF 調理実習室、調理準備室、食品加工実習室、理化学実験室 (2)、試食室、集団給食室、天秤室、理化学備品庫、更衣室

・東館

- 3F 図書館フロアー (全スペース)
- 2F 小教室 (1)、音楽準備室、予備室 (旧 被服室等)
- 1F リトミック室、音楽レッスン室 (5)、ピアノレッスン室 (6)

・南館

- 2F 大会議室 (1)、演習室 (1)、カウンセリング室
- 1F 第2PC教室 (29台)、第3PC教室 (20台)、ピアノレッスン室 (9)、学生自治会室、売店

・手塚誠記念館

- 2F ギャラリー
- 1F 体育館 (兼 講堂)
- BF 視聴覚ホール、学生食堂、学生ホール (PC2台)、体育準備室、更衣・シャワー室

- ・研究棟
 - 4F 教員研究室 (12)
 - 3F 教員研究室 (12)
 - 2F 教員研究室 (6)、課外活動クラブ部室 (3)、学内諸団体室等 (3)
 - 1F 共同実験研究室、演習室、茶華道室

- ・小田原短期大学図書館
<http://koueki.net/library/odatan/>

- ・小田原短期大学運動場
 徒歩25分 (小田原市十字4丁目1060番1 他、合計面積 3,374㎡)

(2) アクセス

<http://www.odawara.ac.jp/about/access/index.html>

(3) 学生自治会及びクラブ活動

「学生自治会活動」

- ・小峰祭の企画、運営
- ・北条五代祭への参画
- ・エコキャップ活動
- ・食育給食の提供
- ・安心安全講座 など

「クラブ活動・同好会」

- | | | |
|------------|-------|-----------|
| ・バレーボール部 | ・合唱部 | ・卓球部 |
| ・バスケットボール部 | ・工作部 | ・写真同好会 |
| ・バドミントン部 | ・演劇部 | ・フットサル同好会 |
| ・ダンス部 | ・バンド部 | |

8 授業料、入学金その他の大学が徴収する費用

(学費等)

(単位：円)

食物栄養学科	1年次			2年次			
	前期	後期	合計	前期	後期	合計	
学費	入学金	340,000	-	340,000	-	-	0
	授業料	375,000	375,000	750,000	375,000	375,000	750,000
	施設設備費	120,000	120,000	240,000	120,000	120,000	240,000
	学生所費	15,000	15,000	30,000	15,000	15,000	30,000
	計	850,000	510,000	1,360,000	510,000	510,000	1,020,000
その他	自治会費	10,000	-	10,000	-	-	0
	後援会費	40,000	-	40,000	-	-	0
	計	50,000	0	50,000	0	0	0
合計	900,000	510,000	1,410,000	510,000	510,000	1,020,000	

保育学科		1年次			2年次		
		前期	後期	合計	前期	後期	合計
学費	入学金	340,000	-	340,000	-	-	0
	授業料	385,000	385,000	770,000	385,000	385,000	770,000
	施設設備費	120,000	120,000	240,000	120,000	120,000	240,000
	学生所費	15,000	15,000	30,000	15,000	15,000	30,000
	計	860,000	520,000	30,000	520,000	520,000	1,040,000
その他	自治会費	10,000	-	10,000	-	-	0
	後援会費	40,000	-	40,000	-	-	0
	計	50,000	0	50,000	0	0	0
合計		910,000	520,000	1,430,000	520,000	520,000	1,040,000

通信教育課程		1年次	2年次	専攻科
学費	入学金	20,000	-	20,000
	授業料	270,000	270,000	130,000
	学習管理費	5,000	5,000	5,000
	計	295,000	275,000	155,000
その他	同窓会	-	5,000	-
	卒業記念品代	-	3,000	-
	計	-	8,000	-
合計		295,000	283,000	155,000

(卒業準備金)

費用(円)	納付時期	対象	概要
44,000	2年次の後期学費納付期	通学課程	卒業研修、卒業記念パーティー、同窓会費

9 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

(1) 学習支援

- ・入学前教育（スタートアッププログラム、ピアノ初心者セミナー）
- ・履修オリエンテーション
- ・新入生行事
- ・卒業宿泊研修
- ・保護者会
- ・カリキュラムマップ
- ・クラス担任制

(2) 資格取得支援

- ・事務局による教育支援相談（履修相談支援、資格相談支援）
- ・医療事務検定等の資格取得支援

(3) 就職・進学支援

- ・キャリアセンターによるキャリア支援（就職支援・求人開拓・進学支援）
- ・就職資料室
- ・公務員試験対策講座

(4) 健康支援

- ・学生支援センターによる健康支援
- ・校医との連携による定期的な健康指導
- ・消毒液の設置

- (5) 相談支援
- ・学生支援センターによる相談支援（学校生活支援、奨学金・育英金）
 - ・カウンセリングルーム
 - ・学生意見箱の設置

- (6) その他
- ・所管警察署との連携（講演会の実施）

10 その他

(1) 学則等

小田原短期大学「学則」より

<http://www.odawara.ac.jp/about/disclosure/index.html>

(2) 教育力向上の取組活動

- ・学生による授業評価アンケート
- ・学生満足度調査の実施
- ・授業方法についての研究会及び研究授業
- ・教員相互の授業参観
- ・教職員研修会の開催（アクティブラーニング研修）
- ・新任教員のための研修会
- ・履修カルテ指導による学生の学習課題の把握

(3) 社会貢献・産官学連携

- ・おだたん食育村
本学で実施する地域貢献を目的とした、地産地消および食育の提供
- ・マロニエ子育て支援センター
小田原市より運営委託している子育て支援センター、学生の学びの場にもなっている
- ・おだたんひろば
地域の0～2歳児の親子の遊び場を本学体育館にて実施し、本学ゼミナールが運営
- ・陽だまりサロン
未就園児親子のための交流の場を民生委員と教員・学生が協同実施
- ・おだたんらぶ 幼児教室
2～3歳児親子を対象とした表現活動の体験プログラム、教員・学生による協同実施（6回実施）
- ・保育セミナー
地域の保育者、子育て支援者向けの講座、高大連携事業にもなっている
- ・子育て支援フェスティバル
小田原市主催の親子イベントに本学教員が実行委員長として実施
- ・北条五代祭り
小田原市観光協会主催の観光イベントに学生が姫役・侍女役、警備係の役割で参加
- ・ふくらん スイーツコンテスト
食物栄養学科の学生が県西福祉会のふくらんにスイーツの商品提案を行った
- ・地域ボランティア
近隣の市町村、社会福祉施設における学生のボランティア活動

(4) 国際交流・大学間連携

- ・海外の協定相手校
学生の海外教育機関等への派遣、海外教育機関等との交流は行っていない
- ・大学間連携
小田原市内の三大学（関東学院大学・国際医療福祉大学）と年に3回連絡協議会を実施し、連携を取っている

(5) 乳幼児研究所

【地域との協同事業】

- ・さがみ信用金庫との保育セミナー（親子力UP!）
働きながら子育てをする母親と家族に生活のしやすさを提案（3回開催）、関連冊子の作成
- ・おだたんくらぶ 臨床発達相談
発達に困難を抱え、困っている親子の相談（随時実施）
- ・神奈川県 県西地域大学連携事業 未病の改善を目的としたレシピの開発と地域への提案
食物栄養学科学生が野菜たっぷり適塩メニューコンテストにてレシピの提案、
入賞作品を小田原万葉の湯にて販売
- ・神奈川県保健福祉課委託事業「就学前の子どもを対象に行う運動遊び研修」

【研修・研究会】

- ・神奈川県保健福祉課の委託
「就学前の子どもを対象に行う運動遊び研修」（3回実施）
- ・ペアレントトレーニング
発達障害をもつ子どもの母親対象のプログラムを実施
- ・支援教育実践研究会
西湘地区の教員との支援教育に関する研修
- ・西湘こども発達研究会
臨床心理士・臨床発達心理士・学校心理士や保健師など専門職との、子どもの発達・障害等に関する学習、研究を実施。29年度から臨床心理士の資格更新ポイントの認定研修会に認定